

「主な取組」検証票

施策展開	5-(4)-イ	持続可能な地域づくりを担う人材の育成・確保	施策	②持続的な環境保全活動を担うボランティアの育成
			施策の小項目名	○環境保全活動団体の育成と連携・支援
主な取組	赤土等流出防止活動促進事業		対応する成果指標	環境活動を実践するNPO・ボランティア団体数
施策の方向	・海洋ごみや外来種対策など、地域が抱える環境問題に対し、市町村等との地域連携・協働により問題解決を促すコーディネーターとなる団体・組織等の育成と連携・支援に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
赤土等流出防止に向けた地域住民の主体的な取組を推進するため、地域団体やNPO等の活動を支援する。	県	赤土等流出防止活動への支援			
		赤土等流出防止活動への支援団体数(累計)			
		7団体	7団体(14団体)	7団体(21団体)	
担当部課【連絡先】	環境部環境保全課		【 098-866-2400 】	関連URL	—

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	赤土等流出防止総合対策事業			予算事業名	赤土等流出防止総合対策事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金(ソフト)	補助	104,223	130,303	一括交付金(ソフト)	補助	180,510

様式1 (主な取組)

令和4年度活動内容			令和5年度活動計画				
赤土等流出防止に取り組む団体の活動に対し補助金を交付した。			赤土等流出防止に取り組む団体の活動に対し補助金を交付する。				
活動指標名	赤土等流出防止活動への支援団体数(累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合A/B		
		3団体	4団体	4団体	7団体	57.1%	大幅遅れ
進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果							
赤土等流出防止活動に取り組む4団体の活動に対して補助金を交付した。公募を3回行ったが、申請は補助金を交付した4団体にとどまり、目標を達成できなかった。補助金の交付により、地域と協働したグリーンベルト植栽活動等の流出防止対策、赤土等流出対策の啓発活動および地域の赤土等流出防止対策に資する調査が行われ、当該地域における流出防止対策が図られた。							
(2) これまでの改善案の反映状況							
令和4年度の取組改善案				反映状況			
赤土等流出防止活動に取り組む団体の活動内容を多くの人に知ってもらい、また、取り組みを行っている団体が新たな団体等と連携することで、赤土等流出防止活動の活性化を図る。				赤土等流出防止対策交流会において補助金を受けた団体が取組内容を紹介し、また、補助金を受けた団体と他の団体とが連携した取り組みが行われ、赤土等流出防止活動の活性化が図られた。			

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	農地における赤土等流出防止対策を強化するため、団体等が実施する農家や地域住民と協働した対策活動の活性化が必要である。そのためには、赤土等流出防止活動に取り組む新たな団体を増やす必要がある。	⑤ 情報発信等の強化・改善	赤土等流出防止活動に取り組む新たな団体を増やすため、赤土等流出防止活動に取り組む団体の活動内容を紹介して、活動を知ってもらうとともに、活動に対する補助金について周知する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	5-(4)-イ	持続可能な地域づくりを担う人材の育成・確保	施策	②持続的な環境保全活動を担うボランティアの育成
			施策の小項目名	○環境保全活動団体の育成と連携・支援
主な取組	環境保全啓発事業（出前講座等による環境保全活動の促進）		対応する成果指標	環境活動を実践するNPO・ボランティア団体数
施策の方向	・海洋ごみや外来種対策など、地域が抱える環境問題に対し、市町村等との地域連携・協働により問題解決を促すコーディネーターとなる団体・組織等の育成と連携・支援に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
本県の環境教育の拠点である「沖縄県地域環境センター」において、県民の環境保全意識の向上を図るための環境情報の発信や各種環境保全啓発活動を実施する。	県	沖縄県地域環境センターによる環境保全普及啓発活動の実施		
		出前講座等の活動回数(累計)		
		65回	67回(132回)	70回(202回)
担当部課【連絡先】	環境部環境再生課	【 098-866-2416 】	関連URL	https://kankyo-center.okinawa/

様式1 (主な取組)



2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名 地域環境センター等管理運営等事業費				予算事業名 地域環境センター等管理運営等事業費		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	19,238	20,784	県単等	委託	18,120
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
沖縄県地域環境センターによる環境情報の発信や各種環境保全啓発活動を企画・実施した。				沖縄県地域環境センターによる環境情報の発信や各種環境保全啓発活動を企画・実施する。		

活動指標名	出前講座等の活動回数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	65回	79回	122回	65回	100.0%	順調	沖縄県地域環境センターにおいて、県内全域を対象に学校や地域等での出前講座や自然観察会、啓発イベント等の環境保全啓発活動を年間を通して実施した。また、センターのHPやセンター情報誌で環境情報を発信した。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>沖縄県地域環境センターで「おきなわ環境教育プログラム集」等を用いて出前講座や自然観察会、啓発イベント等の各種啓発活動を目標値以上の122回開催し、環境学習・体験活動の機会を提供した。また、HPやセンター情報誌「島エコだより」(年3回発行)等で、環境教育プログラムの活用例の紹介、体験活動・体験イベント参加の呼びかけ、子どもエコクラブの活動の紹介をするなど、環境情報を発信したことから順調と判定した。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<p>令和2年度中から実施を始めているリモートやオンラインでの啓発活動を継続して行うなど、対象者のニーズに合わせた啓発活動を展開する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響で対面開催ができない場合は、出前講座をリモート開催することができた。また、自然観察会などの体験イベントは、オンライン開催し、地域環境センターホームページやTwitter、Facebookで情報を発信することができた。 ・学校機関を対象とした出前講座では、学校機関の要望を事前に取り入れた上で、学校側の学習目的に沿った出前講座を開催することができた。 ・また、効果的な啓発活動とするため、近年問題となっており、話題性のあるマイクロプラスチックや防災(地球温暖化適応策)をテーマに、県民を対象とした体験学習を開催した。

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
① 県の制度、執行体制(内部要因)	地域に根差した啓発活動を展開するためには、沖縄県地域環境センターを中核に据えた事業を継続して実施する必要がある。
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	学校向けの啓発活動は、小学校・中学校・高校が主であったが、近年は盲学校やろう学校と連携した活動等を行うなど、啓発活動対象者が多様になっており、対象者のニーズに合わせた活動を展開する必要がある。
⑤ 県民ニーズの変化(外部環境の変化)	啓発活動の多様化(リモートやオンライン開催等)に応じた事業展開を行う必要がある。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
① 執行体制の改善	対象者のニーズや満足度等を把握するため、アンケート調査等を行うことで、各種啓発活動の向上に繋げる。
⑥ 変化に対応した取組の改善	リモートやオンラインでの啓発活動を継続して行うとともに、対象者のニーズに合わせた啓発活動を展開する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	5-(4)-イ	持続可能な地域づくりを担う人材の育成・確保	施策	②持続的な環境保全活動を担うボランティアの育成
			施策の小項目名	○環境保全活動団体の育成と連携・支援
主な取組	県民参加型外来種防除の実施		対応する成果指標	環境活動を実践するNPO・ボランティア団体数
施策の方向	・海洋ごみや外来種対策など、地域が抱える環境問題に対し、市町村等との地域連携・協働により問題解決を促すコーディネーターとなる団体・組織等の育成と連携・支援に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
県民の外来種対策への参画を促進するため、県民参加型の外来種防除イベント等を開催する。	県	ツルヒヨドリ等外来種防除イベントの実施			
		外来種防除イベントの実施回数(累計)			
		3回	3回(6回)	3回(9回)	
担当部課【連絡先】	環境部自然保護課		【 098-866-2418 】	関連URL	—

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	外来種対策事業			予算事業名	外来種対策事業	
主な財源	実施方法	R3年度	R4年度	R5年度		
		決算額	決算見込額	主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金(ソフト)	委託	120,367	438,829	一括交付金(ソフト)	委託	434,753
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
国頭村において、外来植物駆除イベントを開催した。また那覇市において、外来種講座やグリーンアノール駆除体験イベントを開催した。				大宜味村において、外来植物駆除イベントを開催する。また、グリーンアノール駆除体験イベントを2回開催する。		

様式1 (主な取組)

活動指標名	外来種防除イベントの実施回数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	—	3回	3回	3回	100.0%	順調	外来植物防除イベントに27名、外来種講座に5名、グリーンアノール駆除イベントに19名の参加があった。
進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果							
目標値3回に対して実績値3回であり、目標を達成したことから取組は順調に進捗している。							
(2) これまでの改善案の反映状況							
令和4年度の取組改善案				反映状況			
より多くの参加者を集めるため、広く周知を行うとともに、魅力的な記念品の配布等に検討する。				より多くの参加者を集めるため、地元行政や地域、関係機関へ周知を図った。また、参加者がイベントにより満足いただけるよう、魅力的な記念品の作製及び配布に取り組んだ。			

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制(内部要因)	多くの県民が本県の豊かな生物多様性を認識し、外来種対策の必要性について理解を深め、県民一丸となった取組に繋がっていくため、より一層、県民参加型の取組を充実させる必要がある。	④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	より多くの参加者を集めるため、多様なイベントの開催や効果的なイベント情報の発信方法の検討等を行っていく。

様式1 (主な取組)

--	--

--	--

「主な取組」検証票

施策展開	5-(4)-イ	持続可能な地域づくりを担う人材の育成・確保	施策	②持続的な環境保全活動を担うボランティアの育成
			施策の小項目名	○ボランティア活動のマッチング
主な取組	環境保全啓発事業（環境ボランティアマッチングの促進）		対応する成果指標	環境活動を実践するNPO・ボランティア団体数
施策の方向	・地域課題に対するニーズとボランティアとのマッチングを行う環境ボランティアセンターの設置に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
本県の環境教育の拠点である「沖縄県地域環境センター」のホームページ上で、環境保全活動を希望するボランティアと地域のニーズ(各種団体等の要望)をマッチングすることで、県民の環境保全活動への参画を促進する。	県	地域課題ニーズとボランティアのマッチングに係る実施状況を踏まえた環境ボランティアセンターの設置の検討		
		ボランティアマッチングの実施件数(累計)		
		5件	10件(15件)	15件(30件)
担当部課【連絡先】	環境部環境再生課	【 098-866-2416 】	関連URL	https://kankyo-center.okinawa/

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名 地域環境センター等管理運営等事業費				予算事業名 地域環境センター等管理運営等事業費		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	19,238	20,784	県単等	委託	18,120

様式1 (主な取組)

令和4年度活動内容			令和5年度活動計画				
沖縄県地域環境センターのホームページ上で、環境保全活動団体等の情報発信を実施し、県民の環境保全活動への参画を促進した。			沖縄県地域環境センターのホームページ上で、環境保全活動団体等の情報発信を実施し、県民の環境保全活動への参画を促進する。				
活動指標名	ボランティアマッチングの実施件数(累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合A/B		
	—	—	25件	5件	100.0%	順調	沖縄県地域環境センターのホームページ上で、環境保全活動を希望するボランティアと地域のニーズ(各種団体等の要望)をマッチングするため、年間を通して、環境保全活動団体の活動情報等を発信した。
進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果							
<p>沖縄県地域環境センターのホームページ上で環境保全活動団体の活動情報等を発信したところ、約510件のサイト閲覧数があった。サイト閲覧数の5%について、環境保全活動を希望するボランティアと環境保全活動団体のマッチングをすることができたとし、進捗状況は順調であると判断した。今後も継続して県民の環境保全活動への参画を促進する。</p>							
(2) これまでの改善案の反映状況							
令和4年度の取組改善案				反映状況			
—				<p>沖縄県地域環境センターのホームページ上で、環境保全活動を希望するボランティアと地域のニーズ(各種団体等の要望)をマッチングするため、県内の環境保全活動団体の活動情報等を収集するとともに、情報発信を行った。</p>			

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制(内部要因)	県民による地域に根差した環境保全活動への参画を促進するため、沖縄県地域環境センターを中核に据えた事業を継続して実施する必要がある。	② 連携の強化・改善	沖縄県地域環境センターのホームページを活用した情報発信を継続して行うとともに、対象者のニーズに合ったマッチングを展開する。